

ヘルシーメモ

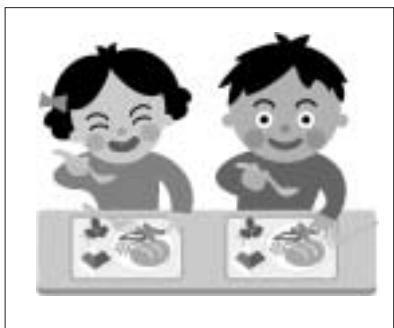
本の一つに、朝食がありますが、近年は朝食をとらない人の割合が大人だけではなく、小学生にも増えているそうです。北海道 P.T.A 連合会が 2004 年に調査した「朝食摂取状況」の調査結果によると、「朝食をほとんどとらない・どちらいことがある」と答えた小学生の割合が 22% を超え、朝食をとらない理由として、「時間がない・食欲がない」が大部分を占めていました。

これは、塾通いや大人の生活時間に合わせることによって、「夕食時間が遅くなる・就寝時間が遅くなることで、起床時間も遅くなる」など、子どもたちの生活が夜型化していることの表れと考えられます。

早寝早起き朝ごはんを大切に

国の諮問機関である教育再生会議の委員で、「百ます計算」で有名な陰山英男氏は、「日本社会の夜型化が子どもの生活習慣の乱れを招き、知力・体力の低下につながっている。それを改善するためには、睡眠を十

“食育の基本は、早寝早起き朝ごはん”



今月の担当
管理栄養士
今野
亞紀

て登校すること（早寝早起き朝ごはん）が、知力・体力の向上につながる」と提唱しています。このような現状を踏まえて現在、国でも文部科学省が中心となつて、「早寝早起き朝ごはん」を国民運動として推奨しています。

大人の「朝食抜き」は「自己責任」ですが、子どもたちの食事を含めた生活は、保護者に責任があることを忘れてはいけません。

子どもたちの心身の健康を維持するためには、朝食抜きで登校することがないよう、保護者が朝食の重要性について再認識することが大切です。

予防・運動

わたしたちの国民年金

学生の納付特例制度

大学、短大、高等専門学校などに在学する学生本人の前年所得が一定以下の場合、申請して承認されると保険料納付が猶予され、保険料を後払いすることができる学生納付特例制度があります。

既に 20 歳を迎えている方は、早めに申請してください。これから 20 歳になる方は、誕生日から 2か月以内に申請をしましょう。

申請には、年金手帳、印鑑のほか、在学証明書または学生証の写しが必要です。詳しくは、町民課戸籍年金係(☎ 47-2203)へお問い合わせください。

離婚時の厚生年金の分割制度が導入されます

平成19年4月1日以後に離婚された場合に、その婚姻期間中の厚生年金の保険料納付記録を、当事者間で合意した割合に基づき分割することができる制度です。

分割を受けた方は、自身の支給開始年齢から、分割後の厚生年金の保険料納付記録に基づく老齢厚生年金を受給することになります。

ただし、老齢厚生年金を受給するためには、自身の年金加入機関(分割を受けた期間を除く)が、原則25年以上必要です。

年金分割の請求書に戸籍謄本や分割割合を定めた必要書類を添付して北見社会保険事務所に提示してください。

当事者の合意または裁判手続きにより分割割合(50% 上限)を定める必要があります。社会保険事務所で、年金分割のために必要な割合などに関する情報提供を行っています。

年金分割は、原則として離婚をした日の翌日から2年以内に請求する必要があります。

詳しくは、北見社会保険事務所（☎ 25-9634）へお問い合わせください。

保険料納付は便利な口座振替で

岩渕さんは、20歳の時に農業を継ぎました。「農業経営は3代目になりますが、おじいさんがこの地に入つたときから農耕馬を使つており、私が子どものときにも馬がいて、よく馬と一緒に遊ぶなど、馬が大好きでしたね」と振り返つていました。

岩渕 文雄さん
(柏丘 56歳)



ばんえい競馬の競走馬（ばん馬）を生産している岩渕文雄さんが、日本馬事協会の優良農用馬生産者賞を受賞しました。小麦、ビートなどの畑作農業を経営するかたわら、ばんえい競馬重賞レースに出走する優良なばん馬を数多く育成。「今回の受賞は今後の生産に大きな励みになります」と喜んでいました。

「ばん馬の生産は、昭和50年に父親が始め、それを引き継いでいます。種付け、出産、育成、調教と一貫経営しています」受賞のきっかけとなつたのは、岩渕さんが育てた牝馬「キヨウワプリンセス」（3歳）の活躍。「昨年12月に北見競馬場で行われた三大重賞レースの一、オーフス賞に出走しました。このレースは、優秀な馬しか出走できないんですね。キヨウワプリンセスは、生まれたときから大きく優秀な馬でした。重賞レースに出走し、今回の受賞につながったと思っています」と目を細めています。

現在、種馬を含め20頭を飼育しています。2歳馬は、競走馬としての能力検定に向けて、毎日、タイヤの上に鉄枠を組んだ重量300kgのソリを引かせる調教をし、優良馬育成に情熱を注いでいます。

3月から6月は種付けの期間で、岩渕さんが飼っている馬だけではなく、遠軽町や美幌町などへ出かけて種付けするそうです。また、春は出産ラッシュ。馬小屋に泊まり込みながら監視する毎日です。

「ばんえい競馬は帶広開催だけになりましたが、自分が育てた馬が活躍することはうれしい。今後も健康、そしてばんえいが続く限りばん馬を生産していきます」

花一輪花と女は愛に咲く 栄町 浅野みよ子

居眠りもあくびもさせぬ名講師 大谷 今野きくえ

一人二役靴底減つてゆく速さ 東町所 モト

晴れ女花には花の虫がいる 東幸町 中島 玲子

鈍感で居るから椅子が心地よい 東町 船戸 千春

この土を信じて花の種買いに 協成東 清子

年金に余生ほそぼそついて行く 緑丘 飯島さだえ

落ちこぼれ窓辺で一番花咲かす 高園 兼安 光子

温暖化ほど良く雨は降るかしら 孫からの可愛い絵手紙いい香おり

大空の広さに自画像小さすぎる 緑丘 横川千代子

目も足も年寄りなんだと自覚する 高園 廣部 栄子

日出町 中野 正紀

川柳 訓子府川柳社